

第1回全国理事会について

9月6日(金)に、ハイブリッド開催にて、第1回全国理事会が開催されました。まず、報告事項として①令和6年度定期総会報告②全公教活動経過報告③ブロック活動経過報告④専門部活動報告(総務調査部、研修部、広報部)⑤第1回全国研究部長会⑥全国要請担当者研修会の6つの事項について報告がありました。次に、報告・協議事項として、①第66回全国教頭会研究大会高知大会の報告と次回茨城大会についての概要について②令和7年度の全公教活動計画や会計の適正化具体策についての提案がありました。最後に、研修・実践報告「副校長・教頭マネジメント支援員の配置促進に向けて」が行われ、全公教の調査で明らかとなった令和6年度のマネジメント支援員配置の状況報告がありました。また、大田区立大森第一小学校の吉沼副校長から、マネジメント支援員の活用についての実践報告がありました。副校長・教頭マネジメント支援員の効果的な活用を行うことで、教職員への学級経営や授業づくりの指導など、副校長・教頭が本来校内で行うべき業務ができるようになり、学校の活性化につながる事が報告されました。

第2回役員・理事研修会について

9月12日(木)に福岡リーセントホテルにおいて、第2回役員・理事研修会が行われました。研修Ⅰでは、中村学園大学教授の平田繁先生による講話「今日の社会状況と教員養成・採用・教職スタート～初任者の『トリセツ』はどうあるべきか～」がありました。大学生の現状や新規採用教員とのコミュニケーションの取り方など具体的で実践的な話を多く聞くことができ、管理職として適切な人材育成の在り方を学ぶことができました。研修Ⅱでは、北九州地区で行われる県の研究大会や各地区の研究大会の説明、全公教研修会等の報告を行いました。数年ぶりの参集型で行ったことで、空気感が直接伝わる研修となりました。



全国要請部長会および要請活動について

9月26日(木)に東京都都市センターホテルにて全国要請推進部長会が開催されました。まず、全体会として、文部科学省初等中等教育局財務課より、「令和7年度概算要求」についての説明がありました。また、全公教総務・調査部から「令和6年度全公教調査における緊急課題」に関する報告があり、課題として「教員不足問題に関する実態」「副校長・教頭マネジメント支援員の配置」「GIGAスクール構想への対応」が挙がっていました。次に講演会として、日本大学文理学部教授の末富芳先生より「学校安心ルールを作ろう—こどもと大人で実現する学校の安全・安心」と題して講話がありました。本年6月に成立した「こども性暴力防止法」「子どもの貧困解消法」を受け、英国や大阪市の先進事例をもとに、大人の責任としての「安心ルール」づくりが大切であるという内容でした。午後からは、グループ協議として、「学校安全」や「不登校支援」など各県の取組について話し合いました。

翌9月27日(金)には、県教頭会会長と要請部長の2名で、国会議員会館を訪ね、福岡県選出の3名の国会議員の方に対して要請活動を行いました。3名の国会議員の方も教育現場の課題についてはご理解いただき、処遇改善等に積極的に取り組んでいくことを約束していただきました。